



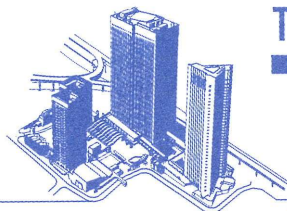
Rotary International

SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005～2006年度・国際ロータリーテーマ

カール・ヴィルヘルム・ステンハマー会長



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

東京新南ロータリークラブ

No.873/2005.07.22

例会日/毎週金曜日12:30

例会場/東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel /03-3505-5976

Fax /03-3505-6004

E-mail/new-south@h9.dion.ne.jp

http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth

Weekly Report

東京新南ロータリークラブ週報「全員参加で実行しよう」
2005～2006年度・東京新南ロータリークラブテーマ/小杉修造会長

●本日の例会/2005年7月22日第894回例会

第2回クラブ協議会

「会員増強について」

(例会後13:10～14:30)

●先週報告/7月15日第893回例会

卓話:「朝鮮半島情報と日本の防衛」

防衛庁防衛研究所
主任研究官兼図書館長 武貞秀士氏

(紹介者 庄司会員)



会長報告:①市川伊三夫地区ガバナーより馬場一廣会員への委嘱状(地区研修副リーダー・研修委員・識字率問題コーディネータ)を伝達しました。

②仲田順和地区直前ガバナーより入沢頼二直前会長への「感謝の楯」を贈呈しました。

親睦委員会報告:(西澤民夫委員長)

①先週もお知らせいたしましたが、暑さをスカッと吹き飛ばす「全員参加型、暑気払い」を下記の通り敢行いたします。当委員会は会場の都合もあり30名以上の参加を期待しております。皆さまお誘い合わせの上、奮ってご参加ください。奥様ご同伴でプールサイドでのビア・パーティーをお楽しみいただきたくご案内申し上げます。ゲストも大歓迎です。

日時:7月25日(月) 18:30～20:30

会場:全日空ホテル4階ガーデンプール横

「ビーチボーイズ・ビアガーデン」



②今年度の火曜会の内4回をメイクアップ扱いとする事が、7月の定例理事会で承認されました。

8月のテーマ:ロータリーの本質と歴史。9月の

テーマ:日本のロータリー活動。11月のテーマ:

最近の話題・インターネットビジネス。2月のテーマ:

最近の話題・銀行員から見た民事再生法。

以上の4回がメイクアップ対象となります。皆さま

まご予定の程、よろしくお願いいたします。

地区会長・幹事会報告

会長 小杉修造

幹事 福島賢哉

7月12日地区会長・幹事会が、新高輪プリンスホテル“天平の間”で行なわれた。

市川伊三夫ガバナーの話。「ロータリー 100年間には二つの戦争を経験し、終戦後は進歩的といわれるのは社会主義であった。ポリオは撲滅したとは言え、まだ完全ではない。その間、HIVの問題が新たに発生してきた。ロータリーは素晴らしい発展をしてきたが、ここに来て会員減少と言うイエローカードがあがって来た。各クラブ共に会員増強というムードを作ってもらいたい。

川尻政輝研修リーダーの話。「超我の奉仕」と「最も奉仕する者が最も報われる」と言うシェルドンのテーマを説明しながら、新年度の動向を説明。

馬場一廣研修副リーダーは「RI会長賞を説明しながら、各クラブに会長賞に挑戦してもらいたい」と結んだ。

次に、6委員会報告の要点は①クラブ奉仕・新藤委員長は、クラブリーダーシッププランの推進。今までの4大奉仕と18委員会構成を5つの委員会(会員増強、クラブ広報、クラブ管理運営、奉仕プロジェクト、ロータリー財団)に限定し効率の良いクラブ運営を目指すこと。②社会奉仕・片倉委員長と

③国際奉仕・谷島委員長は、「識字率向上」と「水の保全」を重点とし世界寺子屋運動推進のために書損じはがき、使用済み切手、テレカなどを継続収集への協力を掲げていること。また

④ロータリー財団・中村委員長は、ポールハリスフェロー 1000ドル年次寄付を地区で6名、一人毎年100ドル寄付の継続推進する。

⑤米山奨学・上條委員長は、奨学生が1002名から802名に援助減少となるため寄付の目標額8千万円、普通寄付を一人8千円に協力願うこと。⑥新世代・海沼委員長は、青少年指導者養成プログラムRYLAの推進を挙げていること。などです。



出席報告:会員52名/出席35名・欠席17名(出席規定免除者5名)

ビジター 2名・ゲスト1名



7月15日／9件29,000円／本年度累計112,000円
多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

庄司泰典／武貞さん本日の卓話を楽しみにしております。荒木昭文／武貞秀士さん本日の卓話よろしくお願いします。小杉修造／梅雨明けのような暑さです。馬場一廣／欠席ばかりで申し訳ありません。今年度がよい1年でありますようお願いしております。よろしくお祈りします。西澤民夫／4人目の孫(女の子)が生まれました。五体満足でほっとしています。武内光晴／めんぼ寄稿、有難う御座います。原稿ストックが無いので、またお願い申し上げます。橋本年男／最近私の体がたるんできたのでジムにかよいました、半年先の私の体を見て下さい。入沢頼二／西澤(正)さんに敬意を表しまして。西澤正雄／いよいよ真夏日となりました久々のニコニコですご協力有難うございました。

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

1. 2004-2005年度 寄付金結果発表 ～ 1年間ありがとうございました！
2004-2005年度の寄付金は約14億4千万円。前年度と比べ3.9%減、約5千8百万円の減少となりました。
普通寄付金が1.7%減、特別寄付金が4.8%減です。
15億円の目標は到達できませんでしたが、依然として厳しい経済情勢である上に会員数も減少するなか、寄付増進にご尽力賜りまして、深く御礼申し上げます。
2. 2006学年度採用数800名
2006学年度奨学生採用は、奨学資金特別積立金の取り崩しを行わないことを基本方針とし、寄付金収入に見合った数として800名採用が決定しました。
3. 『米山学友の群像』が6月末に発行されました。
巣立った米山奨学生たちが、現在どのような活躍をしているのか、ロータリーで体験したことが、その後の人生にどのような影響を与えたのか……。学友の“軌跡”を集約しました。日本のロータリーが、米山奨学事業を通じて追究する国際奉仕の本質と成果を実感できる一冊として、地区における研修や米山奨学事業の理解促進にお役立てください。
本冊子は7月初旬に全クラブへ1冊ずつ送付しておりますが、ご希望があれば米山事務局までご連絡ください。

(TEL:03-3434-8681)

「ハイライトよねやま 65号 2003年7月13日発行」より抜粋

●次週予告／7月29日第895回例会

◎卓話予定

「地方自治とくらし(生活)について」

渋谷中央ライオンズクラブ会員 小倉基氏
前渋谷区長

(紹介者 石井委員)



Member's Voice めんぼ No.57 会員／庄司泰典

明日香(飛鳥)学のスズメ

会員の皆様の中には今マスコミで古墳内部の壁画部分にカビが発生し、その保存方法が問題になっているキトラ古墳や、高松塚古墳などに強い関心を持たれている方々も多々おられると思います。また古墳や遺跡の新たな発掘情報を見たり読んだりして、古代への限らないロマンを感じておられる方々もおられると思います。私もその中の一人です。

こういう考古学情報の大部分は奈良県高市郡明日香村から発信されています。明日香村は万葉の故地であると同時に、現在我々が享受している生活文化の源流の地でもあります。私は学生時代から明日香村にひかれ、毎年必ずこの故地を訪れ、散策や遺跡見学を楽しんでいます。また発掘現場に立ち合ったこともあります。なぜ自分はこんなに明日香に魅かれるのかと疑問に思うことが時々ありますが、元来古代歴史には興味がある事、又この地で多くの歌が詠まれた万葉集に対して興味がある事、そして更に考古学に対してある程度の興味があり、その関係の本や雑誌を読んでいることがその理由であろうかと思っています。それゆえに明日香は私にとって、まさに「心のふるさと」であり「第二の故郷」とも言うべき場所になっています。

明日香は古代中国や朝鮮半島の人々と積極的な文化交流が行われた場所であり、多くの人々の往来があり、漢字や仏教が伝えられ、徐々に伝来されたものが溶け込んで、独自の日本文化が形成されてゆきました。往時は多数の寺院が建てられ、古代日本の首都的な存在となり、当時の天皇もこの地を中心に都を構え、最終的には天武天皇による藤原京の造営となり、栄華を極めました。しかしその後、都が平城京へ移ると明日香の繁栄の時代は終わり、徐々に忘れ去られ、時代を経るに従って衰退して廃墟となり、永い年月の間に全てが地下に埋もれてしまいました。亀井勝一郎氏が、その著書である「大和古寺風物誌」の中で、明日香の荒廃を「滅びの美」あるいは「陰影の美」と評しています。私は野に咲く一輪の花を見ては万葉人に思いをはせ、自然の中に古代人の息吹と気配を感じながら、埋もれた廃墟の上を今後も散策して行こうと思っています。

ここで参考までに明日香村の考古学的な歴史を振り返りますと、昭和8年の石舞台古墳(曾我馬子の墓と言われている)が原点で、その後断続的に発掘などが行われてきました。特に昭和47年の高松塚古墳の壁画の発見はその後の「明日香ブーム」「考古学ブーム」の契機となり、マスコミを通して明日香村から発信される情報は国民的な関心事となりました。

明日香は古代と現在を繋ぐタイムカプセルの役割を果たしています。これからも私にとっても皆様にとりましても、次々と心ときめくニュースが明日香村から発信されてくることを期待して、一旦ここで筆を置かせて頂きます。皆様方にも是非明日香学をおススメ致します。心ときめく機会が更に多くなるものと確信いたしております。